

マニュアル④車両に関する情報の管理

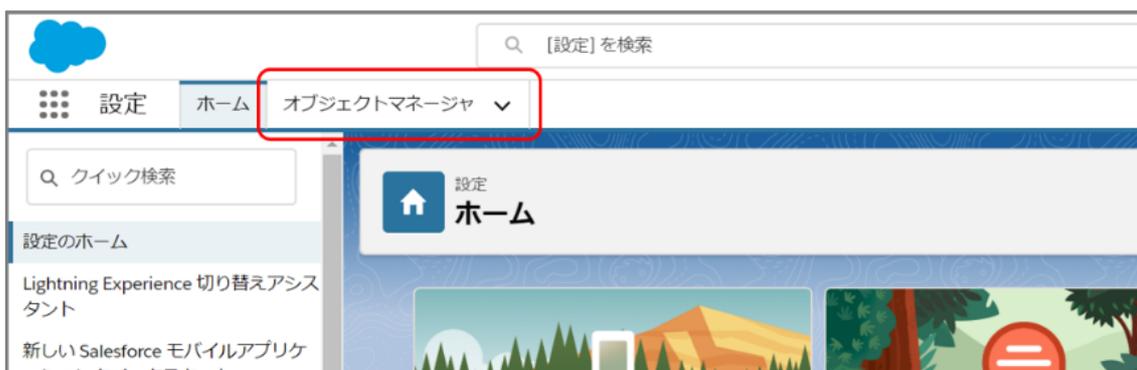
カスタム項目の作成方法

①カスタム項目の新規作成

- 1) 画面右上にある ⚙️ マークを押し、「設定」を選択。



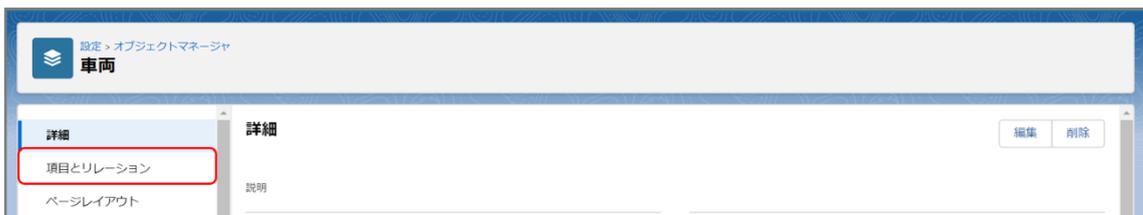
- 2) 設定画面が開くので、「オブジェクトマネージャ」タブを選択



- 3) 画面右の に対象のオブジェクト名（今回は「車両」）を入力し検索された「車両」行を選択



- 4) 画面左側メニューから「項目とリレーション」を選択



- 5) 画面右側「新規」を選択



6) データ型を選択し、「次へ」を選択



- ※ 「（指定なし）」のままでは「次へ」を選択した際にエラーになります
- ※ どのデータ型を選択するかは、追加する項目によって異なります

目的	データ型
交付年月日など、日付を管理したい	日付
重量や距離など、数値を管理したい	数値
装備品の有無など、あり、なしを管理したい	チェックボックス
住所や名称など、自由に入力できる項目を作成したい	テキスト
燃料の種類など、複数の選択肢の中から1つを選択したい	選択リスト
複数の項目の合算値や条件に応じたテキストを表示したい	数式

7) 各データ型で必要な内容を入力して「次へ」を選択 [日付]

ステップ 2. 詳細を入力 ステップ 2/4

前へ **次へ** キャンセル

項目の表示ラベル 画面やレポートに表示する項目名

項目名 任意の英数字
(システム内部でのみ使用します)

説明

ヘルプテキスト

必須項目 値の入力を必須にする

デフォルト値

使用 数式構文: テキストおよび選択リスト値の API 参照名は二重引用符で囲みます: ("the_text"). 数字は引用符で囲みません: (25). 日付は小数で表示します: (010). 日付の計算は標準形式で表示します: (Today0 + 7). カスタムメタデータ型レコードを使用して項目を参照する方法: \$CustomMetadata.Type_mdt.RecordAPINameField_

前へ 次へ キャンセル

[数値]

ステップ 2. 詳細を入力 ステップ 2/4

前へ **次へ** キャンセル

項目の表示ラベル 画面やレポートに表示する項目名

数値の桁数と小数点の位置を入力してください。例: 12345678.90 のような値を入力できます。 数値の整数部と小数部の桁数
(合計で18以内)

文字数 整数の桁数 小数点の位置 小数点以下の数値の桁数

項目名 任意の英数字
(システム内部でのみ使用します)

説明

ヘルプテキスト

必須項目 値の入力を必須にする

ユニーク 値の重複を許可しない

外部 ID 外部システムの一連のレコード識別子として設定する

デフォルト値

使用 数式構文: テキストおよび選択リスト値の API 参照名は二重引用符で囲みます: ("the_text"). 数字は引用符で囲みません: (25). 日付は小数で表示します: (010). 日付の計算は標準形式で表示します: (Today0 + 7). カスタムメタデータ型レコードを使用して項目を参照する方法: \$CustomMetadata.Type_mdt.RecordAPINameField_

前へ 次へ キャンセル

[チェックボックス]

ステップ 2. 詳細を入力 ステップ 2/4

項目の表示ラベル 前へ 次へ キャンセル

画面やレポートに表示する項目名

デフォルト値 チェック チェックなし

項目名 前へ 次へ キャンセル

任意の英数字
(システム内部でのみ使用します)

説明

ヘルプテキスト

[テキスト]

ステップ 2. 詳細を入力 ステップ 2/4

項目の表示ラベル 前へ 次へ キャンセル

画面やレポートに表示する項目名

追加するテキスト項目の文字数を入力してください

文字数 前へ 次へ キャンセル

文字の桁数
(255以内)

項目名 前へ 次へ キャンセル

任意の英数字
(システム内部でのみ使用します)

説明

ヘルプテキスト

必須項目 値の入力を必須にする

ユニーク 値の重複を許可しない

- 「ABC」と「abc」を値の重複として扱う (大文字と小文字を区別しない)
- 「ABC」と「abc」を別の値として扱う (大文字と小文字を区別する)

外部 ID 外部システムの一意的レコード識別子として設定する

デフォルト値

数式エディタの表示

使用 数式構文: テキストおよび選択リスト値の API 参照名は二重引用符で囲みます: ("the_text"); 数字は引用符で囲みません: (25); パーセントは小数で表示します: (0.10); 日付の計算は標準形式で表します: (Today0 + 7); カスタムメタデータ型レコードを使用して項目を参照する方法: \$CustomMetadata.Type_mdt.RecordAPINameField_c

前へ 次へ キャンセル

[選択リスト]

ステップ 2. 詳細を入力 ステップ 2/4

前へ 次へ キャンセル

項目の表示ラベル 画面やレポートに表示する項目名

値

グローバル選択リストセットを使用

各値を改行で区切って入力します。

値を入力順ではなく文字コード順に表示

最初の値をデフォルト値とする

値セットで定義された値に選択リストを制限します

項目名 「各値を改行で区切って入力します。」を選択し、テキストエリアに選択肢の内容を入力

説明

任意の英数字
(システム内部でのみ使用します)

必須項目 値の入力を必須にする

デフォルト値

使用 数式構文: テキストおよび選択リスト値の API 参照名は二重引用符で囲みます: { 'the_text' }. 数字は引用符で囲みません: {0.5}. 円記号は小数で表示します: {0.10}. 日付の計算は標準形式で表します: {Today() + 7}. カラム/クエリ型フィールドを使用して項目を参照する方法: {CustomMetadata.Type_and_RecordAPIName Field_c}

前へ 次へ キャンセル

[数式]

数式の型を選択

ステップ 2. 出 ステップ 2/5

前へ 次へ キャンセル

項目の表示ラベル 画面やレポートに表示する項目名

項目名

数式の戻り値のデータ型

(指定なし) 以下のいずれかのデータ型を選択してください

チェックボックス Boolean 値を計算します

通貨 自動的に通貨形式の金額にします。

日付 他の日付に日付を加えたり引いたりして、日付を計算します。
例: リマインダー送信日 = CloseDate - 7

日付/時間 他の時刻に時刻を加えたり引いたりして、時刻を計算します。
例: 次回 = 0 + 1

数値 数値を計算します。
例: 華氏 = 1.8 * Celsius_c + 32

パーセント 割合を計算し、パーセント記号をその数値に自動的に追加します。
例: 割引 = (Amount - Discounted_Amount)

テキスト 他のテキスト項目を連結するなどして、テキストを計算します。
例: 氏名 = LastName & ", " & FirstName

時間 たとえば、他の時刻に時間数を加えて時刻を計算します。
例: 次回 = TIMEVALUE(NOW()) + 1

任意の英数字
(システム内部でのみ使用します)

数式の結果の型を選択

数値の場合には小数の桁数を入力

オプション 例: 999.00

前へ 次へ キャンセル

数式を入力

ステップ 3. 数式の入力 ステップ 3/5

前へ 次へ キャンセル

数式を入力し、[構文を確認] をクリックして、エラーがないかを確認します。[高度な数式] サブタブをクリックして、追加項目、演算子、および関数を使用してください。

例: 華氏 = 1.8 * Celsius_c + 32

簡単な数式 高度な数式

項目の挿入 演算子の挿入

平均走行距離 (数値) =

関数

日付&時間
MILLISECOND
MINUTE
MONTH
NOW
SECOND
TIMENOW

選択した関数を挿入

MONTH(date)
月を表す (0 月) ~ 12 (12 月) までの数字を返します

この関数に関するヘルプ

関数の説明が表示されます

数式に使用する関数を選択し、選択した関数を挿入

項目の挿入

項目を選択して、[挿入] をクリックします。表示

挿入先

挿入先
挿入先担当者
挿入先担当者
最大年行
合計走行距離(km)
最終走行日
最終更新者
最終更新者 ID

挿入

数式に使用する項目を選択し、挿入

空白項目の処理

数式が数値、通貨、またはパーセント項目を参照する場合は、その値が空白である場合の数式出力に対する処理を指定してください。

空白項目を 0 として処理
空白項目を空白として処理

前へ 次へ キャンセル

ステップ 3. 数式の入力 ステップ 3/5

前へ 次へ キャンセル

数式を入力し、[構文を確認] をクリックして、エラーがないかを確認します。[高度な数式] サブタブをクリックして、追加項目、演算子、および関数を使用してください。

例: 華氏 = 1.8 * Celsius_c + 32 その他の例

簡単な数式 高度な数式

項目の挿入 演算子の挿入

平均走行距離 (数値) =

/*合計走行距離+(当年-登録年)*12+(当月-登録月)**/
Carrot_SumOfDistance_c
(((YEAR(TODAY()) - YEAR(Carrot_RegistDate_c))*12+(MONTH(TODAY())-MONTH(Carrot_RegistDate_c)))

構文を確認

正しい項目または関数に構文エラーはありません。コンパイル後のサイズは 195 文字。

数式が正しく計算可能か確認。間違っている場合は誤りの内容が表示されます。

項目の挿入・選択した関数を挿入のほかに、手入力でも編集可能

関数

日付&時間
SECOND
TIMENOW
TIMEVALUE
TODAY
WEEKDAY
YEAR

選択した関数を挿入

YEAR(date)
ある日付の年を表す 1900 ~ 9999 までの数字を返します

この関数に関するヘルプ

空白項目の処理

数式が数値、通貨、またはパーセント項目を参照する場合は、その値が空白である場合の数式出力に対する処理を指定してください。

空白項目を 0 として処理
空白項目を空白として処理

前へ 次へ キャンセル

8) 「次へ」を選択

ステップ 3. 項目レベルセキュリティの設定 ステップ 3/4

前へ **次へ** キャンセル

項目の表示ラベル ラベル
データ型 日付
項目名 FieldName
説明

項目レベルセキュリティを通じて、この項目に編集アクセス権を与えるプロフィールを選択します。この項目は、項目レベルのセキュリティに追加しないと、すべてのプロフィールで表示されなくなります。

プロフィール別	項目レベルセキュリティ	<input type="checkbox"/> 参照可能	<input type="checkbox"/> 参照のみ
CariotAPIユーザー		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Cariotシステム管理者		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Cariotユーザー		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

9) 「保存」を選択し、項目の作成を完了します

ステップ 4. ページレイアウトへの追加 ステップ 4/4

前へ 保存 & 新規 **保存** キャンセル

項目の表示ラベル ラベル
データ型 日付
項目名 FieldName
説明

この項目を表示するページレイアウトを選択してください。この項目は、指定したページレイアウトの、最初の 2 列のセクションの最後に追加されます。レイアウトを選択しないと、ページに項目が表示されません。

この項目を表示する位置を変更するには、ページレイアウトをカスタマイズする必要があります。

<input checked="" type="checkbox"/> 項目の追加	ページレイアウト名
<input checked="" type="checkbox"/>	車両モバイルレイアウト
<input checked="" type="checkbox"/>	車両レイアウト
<input checked="" type="checkbox"/>	車両レイアウトLEX

追加した項目は画面での編集や、レポートへの追加が可能です。

■画面から値を登録

Cariot ホーム ドライバー ▾ **車両** ▾ デバイス ▾ 走行データ ▾ ルート ▾ エリア ▾

車両
車両A

所有者の氏名又は名称

ラベル

|

■レポートへの項目追加

レポート ▼
C000_車両管理台帳 車両

アウトライン 検索条件 4 限定された数のレコ

列をグループ化
グループを追加...

列

ラベル

車両: 情報

ラベル

車両管理番号

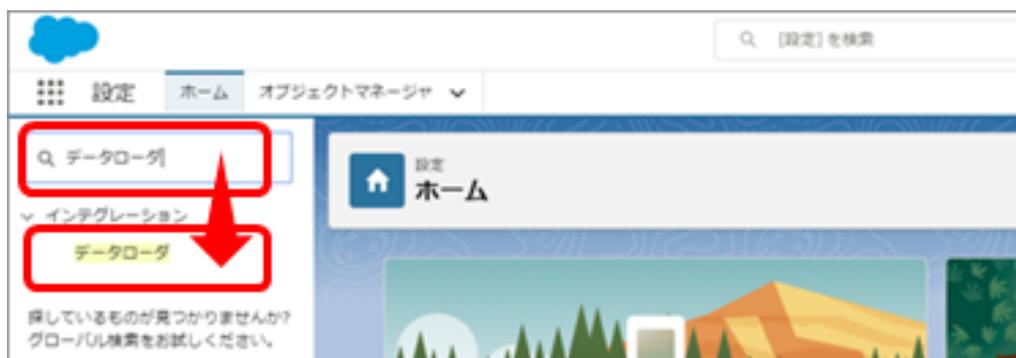
データローダの使用方法

① データローダのインストール

- 1) 画面右上にある  マークを押し、「設定」を選択。



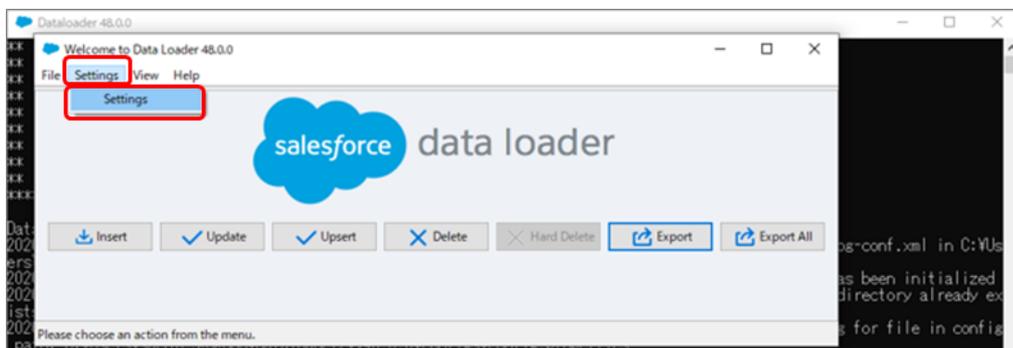
- 2) 設定画面が開くので、画面左の に「データローダ」を入力し、表示されたリンクをクリックし、ダウンロードページを開きます。



- 3) 「Windows のインストール手順」、「Mac のインストール手順」を参考に、データローダをインストールします。
※P31-33 に手順を載せていますが、バージョンによって異なる可能性があります



- 4) データローダを起動し、Settings を押し、Settings を選択。



- 5) Time Zone を「GMT」に変更。また、Insert null values、Read all CSVs with UTF-8 encoding、Write all CSVs with UTF-8 encoding にチェックが入っていないことを確認してください。

Settings

Modify your settings:

Hide Welcome screens:

Batch size: 200

Insert null values:

Assignment rule:

Server host (clear for default): https://login.salesforce.com

Reset URL on Login (clear to turn off):

Compression (check to turn off):

Timeout (in seconds): 540

Query request size: 500

Generate status files for exports:

Read all CSVs with UTF-8 encoding:

Write all CSVs with UTF-8 encoding:

Use European date format (dd/mm/yyyy):

Allow field truncation:

Allow comma as a CSV delimiter:

Allow Tab as a CSV delimiter:

Allow other characters as CSV delimiters:

Other Delimiters (enter multiple values with no separator, for example, !+?):

Use Bulk API:

Enable serial mode for Bulk API:

Upload Bulk API Batch as Zip File (enable to upload binary attachments):

Time Zone: GMT

Proxy host:

Proxy port:

Proxy username:

Proxy password:

Proxy NTLM domain:

The last batch finished at 2. Use 2 to continue from your last location.

Start at row: 0

OK Cancel

※データに文字化けがある場合 Read all CSVs with UTF-8 encoding、Write all CSVs with UTF-8 encoding チェックを入れてください。